

平成 25 年 6 月 30 日

# 南の風 39

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

横浜市の春季大会が終わりました。

男子は優勝が南部代表の六ッ川チームでした。六ッ川チームの選手の皆さん、スタッフ並びに保護者の皆様、おめでとうございます。決勝では、北部代表の榎が丘チームと接戦となり、延長の末 38 対 34 で見事優勝しました。南部の会長として本当にうれしく思いました。

一方女子は、決勝が中部同士の戦いとなりました。ひかりが丘と瀬谷第二が勝ち上がり、このゲームも接戦となり、31 対 24 でひかりが丘が優勝しました。ひかりが丘チームの選手の皆さん、スタッフ並びに保護者の皆様、おめでとうございます。

南部代表として出場した、六ッ川を除く男女5チームは、男子の桜岡チームがベスト 8 となりましたが、残念ながら他のチームは勝ち上がることができませんでした。今後のさらなる研鑽努力が期待されます。南部のチームの皆さん、六ッ川に続くように頑張りましょう。

さて、中学、高校も関東大会や全国大会に向けて、大事なゲームが各地で行われています。神奈川県の高校のインターハイ予選では、男子は桐光学園が1位、厚木東が2位となりました。女子は金沢総合が1位、旭高校が2位となり、7月下旬から大分県で行われるインターハイの出場が決まりました。4校の皆さんおめでとうございます。それぞれのチームには、ミニバスの各チームのOB、OGの方がいると思います。全国大会での活躍を期待しましょう。一方中学は、関東予選の県大会が7月から始まります。中学校は、関東大会と全国大会が繋がっています。関東大会（8月上旬、茨城県）の上位4チームが、8月下旬に静岡県で行われる全国大会に出場します。中学校にもそれぞれのミニバスチームのOBやOGの選手がいるのではと思います。活躍が楽しみです。

先日、東京都の高校女子のインターハイ予選を観戦しました。結果は1位が東京成徳、2位が八雲学園、3位が明星学園でした。何ゲームか観戦したのですが、その中でミニバスにも参考となるスキルがありましたので書きます。参考になればと思います。

まず、東京成徳のオフェンスです。東京成徳は基本通り、中と外の合わせで攻めていました。ポストマンのボールのもらい方、タイミングが絶妙でした。ポストの合わせで大切なことは、パッサーとのタイミングです。パスがパッサーにわたってから、ポストマンが始動しては当然遅いのです。（もちろんそこから、裏のポジション取りのプレイもありますが、ここでは割愛します。）パスがパッサーにわたる前に、ポストマンは自分のディフェンスと勝負します。最初から行きたい所にかず、フェイクを入れて、ディフェンスを動かしてからポジションを取ります。ポジションを取る時は、いわゆるワイドボディです。しっかり手を広げて、足を開きディフェンスの大腿部にお尻を密着させ、相手の動きを封じます。またボールを受けた瞬間、ドリブルカットならオフアームの手でリードするように前を遮り、カットインです。ボールをもらった瞬間、ディフェンスの気配を感じれば（キャッチフェイクをして）、リアターンして、ショットか合わせのパスです。成徳のセンターは、大変ポジティブでディフェンスとの接触に強かった印象でした。続きは次号に書きます。